生物と森を育む紙「里山物語」

2011 この事業は 2020 「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」 が推奨する事業として認定を受けています。

団体名:中越パルプ工業株式会社

連携主体:NPO法人里山保全再生ネットワーク

事業の概要

本プロジェクトは、 「森を守るためには間伐材をたくさん使うことが必要」と考え、クレジット方式での間伐材活用による森林保全を進める、 里山に新たな価値を見出した団体を寄付金で応援して、里山保全活動に繋 げる、という2つの大きなコンセプトを持った印刷用紙の販売事業です。

「里山物語」を採用したユーザーは、紙を変えるだけで、日本の森を守る活動及び生物多様性を守る活動を支援することとなります。今後も、本業を通じた活動で、さらに社会的意義の高い活動を里山で行っている団体を支援し、生物と里山、そして森に人が関わる事例を増やしていきます。



関連する愛知目標 1、4、7、14

URL http://www.chuetsu-pulp.co.jp/

認定のポイント

多様な主体の連携

事業者とNPOなど、複数のセクターが連携しています。

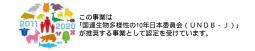
取組の重要性

間伐材の利用促進により森林の生物多様性の保全に対して具体的な効果が期待されるほか、寄付金を他のNPOの里山保全活動に活用することで関連活動の推進を支援する効果が期待されます。

取組の広報の効果

製品の活用の拡大とそれに伴うNPOへの支援の充実といった事業効果のさらなる向上が期待されるほか、本プロジェクトを参考にした新たな取組を誘発する波及効果が期待されます。

ホタルの棲める環境づくり



団体名:株式会社熊谷組

連携主体:学校、自治体、公益財団法人日本生態系協会、NPO法人グリーンパワー研究会

事業の概要

本プロジェクトは、失われた清涼な自然のシンボルであるホタルに着目し、ホタルの卵から羽化までの生育に適した土壌環境、水環境の創出を通してホタルの棲める環境づくり(ホタルビオトープ技術)の普及展開を進める取組です。

今後は、 多様な主体との連携を促進しながら、自然と直接関与することが多い建設業の特色を生かして、全国の地域整備や都市開発 の現場においてホタルビオトープの復元・再生を目指します。また、地域 の住民や子供たちへの環境学習の場としても積極的に活用していきます。

関連する愛知目標 1、8、10、14、19

URL http://www.kumagaigumi.co.jp/tech/tech_s/environment/ev_8.html



小学生による 幼虫の放流

地域の住民や子供 たちへの環境学習



認定のポイント

多様な主体の連携

事業者、学校、自治体など、多岐にわたるセクターが連携しています。

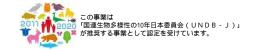
取組の重要性

ビオトープの整備により生物多様性の保全に対して具体的な効果が期待されるほか、工事現場でのホタル観賞会など事業を継続実施できる仕組みが整備されています。

取組の広報の効果

他の事業者でも同様の活動が行われるようになることが期待されるほか、ハビタット評価認証(JHEP)に対応した整備手法の確立に取り組む先進性により新たな取組を誘発する波及効果が期待されます。

JTB地球いきいきプロジェクト



団体名:株式会社ジェイティービー 連携主体:地域住民、自治体、NPO

事業の概要

本プロジェクトは、お客様や地域の皆様とJTBグループの社員が一緒になり、元気な未来を創造していく活動です。1985年から続く観光地の清掃活動に加え、生物多様性への理解促進、地域の伝統文化の学習、新たな観光名所づくりなどのプログラムを織り交ぜることで地域の活性化、新たな交流の創出に寄与しています。

今後は、お客様を含む一般社会への認知向上のための活動を強化すると共に、活動機会を世界各地に拡大していきます。また地域(自治体・団体)との連携を更に強化し、生物多様性の普及啓発に努めつつ、各地の豊かな自然資源の恵みや文化を魅力的なものに磨き上げることで、地域の観光促進に繋げていきます。

関連する愛知目標 1、6、8、9、17、18、19

URL http://www.jtbcorp.jp/jp/csr/social_contribution/clean/index.asp







認定のポイント

多様な主体の連携

事業者、地域住民、自治体、NPOなど、多岐にわたるセクターが連携しているとともに、国内のみならず海外でも活動を展開するなど広域性があります。

取組の重要性

参加者、地域住民、社員が一体となって行う活動を通じて、生物多様性の普及啓発や、地域の環境に対する理解向上などに対して具体的な効果が期待されます。

取組の広報の効果

地域自治体・団体が地域活性化を期待するエリアで自然資源や生物多様性の恵みに対する理解促進などの活動を行っているため、これらの連携による参加者の増加や事業効果の更なる向上が期待されます。

「生きもの豊かな田んぼ」の取り組み

(田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト)

団体名:株式会社アレフ

連携主体:農家、NPO、顧客、市民、学校、研究者

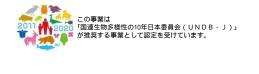


本プロジェクトは、農家、顧客等多様な主体と共に水田の生物多様性を保全することを目的に、生物多様性の保全に貢献する農法で栽培した米の調達とレストランでの提供、自社施設内「ふゆみずたんぼ」での実践と体験機会の提供、北海道内での生物多様性に貢献する農法の実証を行っています。

今後は、店舗での「生きもの豊かな田んぼ」のお米の提供を維持し本業を通して水田の生物多様性保全に貢献します。また産地での市民・従業員参加型調査の開催や店舗・ウェブ等を活用し普及啓発を展開しつつ、持続可能な有機栽培技術の確立を目標に生産者等との対話・実証を継続します。

関連する愛知目標 1、4、7、8、12、15

URL http://www.aleph-inc.co.jp/









認定のポイント

多様な主体の連携

事業者、農家、NPOなど、多岐にわたるセクターが連携しているとともに、活動が複数の道県にまたがるなど広域性があります。

取組の重要性

ふゆみずたんぼの実践などにより生物多様性の保全及び持続可能な利用に対して具体的な効果が期待されるほか、レストランでの商品提供を通じて一般への普及啓発に具体的な効果が期待されます。

取組の広報の効果

市民参加型調査の参加者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、他の事業者でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。

環境保全型農業の推進と生物多様性登米戦略

(田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト)

団体名:登米市

連携主体:農家、生協、NPO、事業者、市民、学校



本プロジェクトは、農業者の環境保全型農業への取り組みを促すための助成事業です。助成対象は、水稲の有機栽培に必要な資材等の購入経費、JAS有機栽培やカーボン・フット・プリントの認証経費等、生物多様性を図るための、ビオトープ・水田魚道・冬みず田んぼの整備資材代等です。

今後は、平成26年度策定予定の「生物多様性登米戦略」の中に、農地の生物多様性を向上させる取り組みとして環境保全型農業を盛り込み、「生きものと共生する農業の推進」、「農薬・化学肥料の使用量の削減」、「郷土野菜種の保全と需要の拡大」の項目により生物多様性の向上を図っていきます。

関連する愛知目標 7

URL http://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/nogyo/tomesinonogyo.html



認定のポイント

多様な主体の連携

自治体、農家、生協、NPOなど、多岐にわたるセクターが連携しています。

取組の重要性

市全体での環境保全型農業の推進や、ビオトープ、魚道、冬みず田んぼによる生息環境の改善など、 生物多様性の保全及び持続可能な利用に対して具体的な効果が期待されます。

取組の広報の効果

参加者の増加など事業効果のさらなる向上が期待されるほか、生物多様性地域戦略を有効に活用した 先進事例となり、他の地域でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。

ラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地の賢明な活用推進事業

(田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト)

団体名:小山市

連携主体:ふゆみずたんぼ実験田推進協議会、コウノトリ・トキの舞うふるさとおやまをめざす会

事業の概要

本プロジェクトは、小山市の「宝」である渡良瀬遊水地が、平成24年7月3日に世界のラムサール条約湿地に登録されたのを機に、第1に治水機能確保を優先としたエコミュージアム化、第2にトキ・コウノトリの野生復帰、そして第3に環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進を、「賢明な活用の3本柱」として、その推進に努めています。

今後は、無農薬・無化学肥料による安全・安心な「ラムサールふゆみずたんぼ米」 の生産や、ふゆみずたんぼを活用したトキやコウノトリの餌となるドジョウや小魚 などが年中生息できる環境整備など、環境に優しい農業を推進していきます。

関連する愛知目標 7

URL http://www.city.oyama.tochigi.jp/



認定のポイント

多様な主体の連携

自治体、農家、生協、NPOなど、多岐にわたるセクターが連携しています。

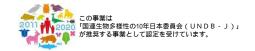
取組の重要性

ふゆみずたんぼの実践など生物多様性の保全及び持続可能な利用に対して具体的な効果が期待されるほか、ラムサール思米というブランド米の開発など事業を継続実施できる仕組みが整備されています。

取組の広報の効果

参加者の増加など事業効果のさらなる向上が期待されるほか、生物多様性地域戦略を有効に活用した先進事例となり、他の地域でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。

流域コモンズによってよみがえる"さとのくらし"

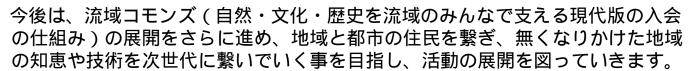


団体名:森林塾青水

連携主体:事業者(茅葺業者等)、自治体(群馬県みなかみ町)

事業の概要

本プロジェクトは、水源地域の環境資源(自然の恵み)を持続的に利用・管理する仕組みの実践を目標とし、群馬県みなかみ町の残された草原やミズナラ林を対象とし、約40年間途絶えていた火入れを都市住民と地域住民と協力しつつ復活させるとともに、茅刈りや薪の供給などの取組を時代に合った形で再生させることで、人と自然が共存する「さとのくらし」を再構築しつつあります。



関連する愛知目標 1、7、14、18

URL http://www.commonf.net/





認定のポイント

多様な主体の連携

都市住民、地域住民、事業者、自治体など、流域圏の中で多岐にわたるセクターが連携しています。

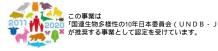
取組の重要性

都市と地域の住民が協力した新しい形の里山利用を進めており、火入れや草刈りによる草原生態系の保全、流域の文化財の葺き替え材としての活用等の取組が流域内で波及しつつあります。

取組の広報の効果

参加者や支援者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、流域圏の交流の活発化など活動の広域化が期待されます。

多様な主体の連携・協働による東京湾再生の推進



団体名:東京湾再生官民連携フォーラム

連携主体:NPO・NGO、水産業、事業者、レジャー産業、大学・研究機関、自治体、関係省庁

事業の概要

本プロジェクトは、東京湾再生を目的に多様な主体が連携・協働して取組むものです。 本フォーラムの設立にあわせて東京湾大感謝祭を開催し、市民の関心を喚起するとと もに、再生に向けた具体的な検討や活動を行う、「生き物生息場」「モニタリング」 「江戸前」など5つのテーマによるプロジェクトチーム(PT)を設置しています。

今後は、PTの取組により、東京湾を再生しつつ、活動や連携の輪をより多くの方々へ広げていきます。また、都市再生プロジェクトに基づき設置された東京湾再生推進会議へ取組を提案します。あわせて、イベント開催や子供達の環境学習の支援等を行うとともに、他の活動団体と協力し長期的な視点で多様な活動を行っていきます。

関連する愛知目標 1

URL http://www.tbsaisei.com/



認定のポイント

多様な主体の連携

東京湾流域(埼玉、千葉、東京、神奈川)のNPO・NGO、民間企業、水産・漁業関係者、大学・研究機関、地方自治体、関係省庁等多様な主体が参画しており、広域性のある活動が期待されます。

取組の重要性

多様な主体の知見を活かした取組、フォーラム本体とPTでの具体的活動による輪の広がり、官からなる東京湾再生推進会議への提案により、東京湾の再生が期待されます。

取組の広報の効果

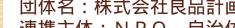
参加者の輪が広がることによる活動のさらなる活発化や、大阪湾・伊勢湾での同様の活動の展開に加え、 多様な主体が連携したアイディアによる先進的な提案や活動への発展が期待されます。

無印良品キャンプ場

『過剰なサービスは省きましたが、自然は豊かです』

団体名:株式会社良品計画

連携主体:NPO、自治体、大学、地元関係団体



事業の概要

本プロジェクトは、「そのままの自然を、そのまま楽しむ」というコンセ プトの元、それまでにあったその土地の豊かな自然を守りながらしっか りと今に伝え、訪れる人が快適かつ安全にアウトドアを楽しむことがで きる場所として存在しています。

今後は、今まで以上に、それぞれのキャンプ場の自然環境や特性を生かし、 地域の人たちと一緒になって、からだ全体で大自然を感じることができ たり、昔の人たちの知恵(文化)を深く伝えられるような「アウトドア 教室」を開催し、特別な時間を過ごせる場所となるようにします。

関連する愛知目標 4、5、14、18

URL http://www.muji.net/camp/







認定のポイント

多様な主体の連携

事業者、NPO、自治体、大学、地元関係団体など、多岐にわたるセクターが連携しているとともに、 活動が複数の県にまたがるなど広域性があります。

取組の重要性

子どもたちの自然体験により生物多様性への理解向上が図られるなど、生物多様性に関する環境教育 への具体的な効果が期待されます。

取組の広報の効果

参加者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、自然体験を通じた生物多様性への理 解向上の取組事例として、他の地域でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。

生きものも育む自然共生型田んぼづくり

(田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト)

団体名:九重ふるさと自然学校(一般財団法人セブン イレブン記念財団)

連携主体: N P O、町民、自治体(九重町)、教育機関

事業の概要

本プロジェクトは、「田んぼ」という自然に目を向け、田んぼはお米とともに多様な生きものを育んでいるということを知ってもらい、生きものも育む田んぼを保全し、広げていこうとする活動です。周辺にビオトープが整備された無農薬の田んぼを拠点に2009年から継続して実施しています。

今後は、生きものの生息に配慮したさらなる環境整備を進め、「自然共生型田んぼ」のモデルを模索します。また、実際に生息する生きもののデータを集め、その重要性を普及しつつ、賛同してくださる人々を募り、「自然共生型田んぼ」を広げていきたいと考えています。

関連する愛知目標 1、7、8、14

URL http://www.7midori.org/kokonoe/index.html



認定のポイント

多様な主体の連携

企業の設立した財団を母体として、NPO、町民、自治体、教育機関など、複数のセクターが連携しています。

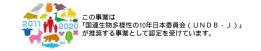
取組の重要性

ビオトープの整備や環境教育の実践に加え、活動紹介ツールの制作・広報に力を入れており、田んぼの賢明な利用の意識向上に対して具体的な効果が期待されます。

取組の広報の効果

参加者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、事業者による環境保全活動の先進事例となり、他の事業者でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。

フォレスト・オブ・ホープ



団体名:一般社団法人バードライフ・インターナショナル・アジア・ディビジョン 連携主体:各国政府、開発支援機関(ドイツ開発銀行、イギリス海外開発機関など)、NGO、企業など

事業の概要

本プロジェクトは、熱帯雨林の減少を阻止するため、生態系の修復や復元を行いながら生物多様性を保全し、気候変動を緩和させる事業です。活動には地元や周辺地域の人々が参加し、彼らが経済的な恩恵にあずかれるよう、新しい時代にむけての森林保全の仕組みづくりを進めます。

今後は、インドネシアスマトラ島のモデル事業を参考に、アフリカ、南米、アジア等、世界規模で活動を促進させます。2014年1月、ベトナム中部に2700ヘクタールの森が誕生しました。2020年までに世界で約20ヵ所、100万ヘクタールのフォレスト・オブ・ホープの森を作ります。

関連する愛知目標 5、11、14、15

URL http://www.birdlife-asia.org/action/forest.html



認定のポイント

多様な主体の連携

政府、事業者、NGOなど、多岐にわたるセクターが連携しているとともに、国境を越えて活動を展開するなど広域性があります。

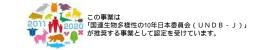
取組の重要性

熱帯雨林の保全により生物多様性の保全に対して具体的な効果が期待されるほか、地域住民の参画による地域経済活動の支援など事業を継続実施できる仕組みが整備されています。

取組の広報の効果

活動に対する支援者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、各国でも同様の取組が行われるようになることが期待されます。

黄海エコリージョン支援プロジェクト



団体名:公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)

連携主体: 政府(中国遼寧省海洋漁業局、韓国ムアン郡海洋課)、NGO(韓国生態地平研究所)、

研究機関 (遼寧省海洋科学研究院、韓国海洋科学研究院)、パナソニック株式会社

事業の概要

本プロジェクトは、パナソニック株式会社の支援のもと、日本、韓国、 中国の科学者が行った生息地評価により明らかにした黄海の生物多様性 優先保全地域の保全と持続的利用を推進する取り組みです。

今後は、中国、韓国でそれぞれ実施した、「沿岸漁業と渡り鳥保全」、「地域住民主体の干潟保全」をテーマとしたモデル事業の経過と成果をまとめます。出版や発表の場を通して中国や韓国をはじめ世界に向けて発信します。同時に、このプロジェクトを参考とした同様の取組の展開を、より広い地域を対象に呼びかけていきます。



URL http://www.wwf.or.jp/activities/2009/01/671414.html





認定のポイント

多様な主体の連携

政府、研究機関、事業者など、多岐にわたるセクターが連携しているとともに、国境を越えて活動を 展開するなど広域性があります。

取組の重要性

黄海の重要地域における生物多様性の保全に対して具体的な効果が期待されるほか、周辺国・地域での国際協力に関する意識向上に対して具体的な効果が期待されます。

取組の広報の効果

活動に対する支援者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、各国でも同様の取組が行われるようになることが期待されます。